

連立与党の定率減税や控除の 廃止に伴う負担増に救済策を

日本共産党 吉村美津子

問 二〇〇四年・〇五年の税改正に伴い、老年者控除の廃止や公的年金控除の縮小、定率減税廃止など、収入は増えていないのに税負担が大きくなっており、生活が大変となっている。軽減策を講じるべき。

答 国民健康保険税条例第十四条に、「当該年度において、所得が皆無又は著しく減じたため、生活に困難を来したと認められる者・天災その他特別の事由がある者は減免の対象になる」とある。一部負担金についても、規則第十一条に減免が定められている。広報での住民周知を行うべきではないか。

答 住民課長 広報周知は、毎回は難しいが検討をしてみる。

◆「障がい者控除対象者」認定書の発行を

問 六カ月以上寝たきりのお

◆新町長に問う

問 我が党は「藤久保地域に

年寄りや、税務署に申告すれば障がい者控除を受けられるので通知を。また、「障がい者控除対象者」認定書を発行して、税の軽減対策を講じられるような対応はどうか。

答 高齢者支援課長 平成十九年中に制定できればと思う。



公園用地として取得した土地

公園を」と、活動してきた。町の英断で用地を購入したが、町長はこの公園以外にも公園設置の考えは。

答 町長 特に考えてはいないが、公園は多くあった方がいいと思っっている。

◆懇話会について

問 十四行政区ごとに地域懇談会を開いて、住民の意見の聴衆を提案するが。

答 町長 ご提言を踏まえて実施していきたい。

Q 小型バス運行で、住宅密集地の 交通利便性向上を図れ！

高齢者の移動手段にデマンド方式導入を

公明党 内藤美佐子

問 道路事情でライフバスが進入できない住宅密集地に、小型バス等による新たな公共交通の導入はどうか。また、電

話予約により家まで迎えに行き、目的地で降ろすデマンド方式交通システム（乗り合いタクシー）の調査研究は。

答 自治環境課長 課内では検討していたが、今後さらなる調査研究をする。

答 町長 交通手段のさらなる充実については、交通審議会で議論を深めていきたい。

◆妊婦無料健診の拡大を！

問 妊娠・出産に伴う高額な負担が出生数の低下を招いていることから、現在二回の妊婦無料健診を拡大してはどうか。

答 健康福祉課長 厚生労働省が平成十九年度より無料化を五回以上に拡大することを決めた。当町は不交付団体のため国の財政支援はないが、当町の財政を精査し、十九年度中の実施に向けて検討する。

◆安全なまちづくりを！

問 鍵が壊れ放置された空き家等は犯罪や火災が起こりやすい。通学路沿線上の

空きビル・空き家等の総点検を実施しては。

答 自治環境課長 所有者が分ければ改善をお願いする。

問 学校作成の安全マップに危険箇所として記されているか。また、スクールガードによるパトロールはどうか。

答 学校教育課長 安全マップには載せていない。スクールガードは下校児童に付き添い、危険箇所は報告する。

◆幹線二〇号線に灯りを！

問 利用者は多いが夜間真っ暗で怖い。防犯灯の設置は。

答 自治環境課長 道路拡幅ができれば設置可能となる。



幹線20号線（水道タンク前から国道日産プリンスへの農面道路）

三芳スマートICの
早期フルインター化を！

Q 具体的図面作成・建設着手時期はいつごろか！

21町政クラブ 高橋忠一

問 国・県と東日本高速道路(株)との協議の進捗状況は。

答 企画財政課長

フルインター化が予定されている位置・ゲート等の問題点についてそれぞれ意見をいただき、今後定期的に打ち合わせを行い、それと並行する形で警察協議も行っていくことを確認した。

問 具体的図面の作成時期は。

答 企画財政課長

意見調整が決定してからで、町内各担当者と緊密な連絡をとりながらなるべく早い時期と考えている。

問 建設着手時期について。

答 企画財政課長 地権者との交渉にかかわる面積測量と

その用地交渉、その他工事のための縦・横断測量と設計書の作成等の作業があり、平成二十年度中にはと考えている。



三芳スマートIC

◆上富一区リサイクル施設
問題について

問 周辺環境調査を実施する
のか。

答 自治環境課長 環境調査

の調査内容について問い合わせ中であり、苦情の有無にかかわらず、今後も引き続き注意を払っていく。

問 上富一区(周辺住民要望)

の環境をどのように維持する
のか。

答 自治環境課長 山林等に

は不法投棄が見られる。新たな不法投棄を防ぐ意味でも、迅速に処理をし、看板設置、防護柵の設置、巡回パトロール等を実施している。関係機関や関係各課と連携しながら、町の特性である緑の景観を保全し、安全で住みよい町となるよう進めていく。

問 その他の質問 青色回転灯装着防犯パトロール車の導入について

Q 新しいまちづくりを目指して！
新町長が掲げた政策について

公明党 横田英明

問 「まちづくり懇話会の創設」の内容と進め方は。
答 町長 住民の声をいかに

多く聞き、その意見を極力行政に生かしていくのが目的である。当面は行政区に向向き、車座で対話する方式を考えているが、具体的な進め方については、今後総合政策室の中でよく検討していきたい。

問 みどりの保全のために、

減税対策や雑木林の所有者と地域住民との相互協定による自然公園化の推進は。

答 町長 住宅地に隣接する

雑木林については、地域の住民の方に下草刈り等をお願いするかわりに、緑地公園として開放していただけないか、所有者と交渉していきたい。

◆行政サービスについて

問 福祉ボランティア団体の

中で、福祉囲碁・将棋の会は毎年会員が増加し、活動拠点が狭くなっている。高齢者及び障がい者の生きがいある活動を支援するためにも、藤久保地域にスペースのある活動拠点の確保を望みたいが。

答 町長 現状として新しく

建設するのは困難だが、藤久保地域にある集会所の中で、使用できる場所があれば関連の区長とよく相談し、確保できると前向きに検討したい。

問 北永井地域「チエルシー

ガーデン」内にあるひらの公園は利用者も多いが不安も多い。防犯のためにも時計の設置を。

答 町長 状況

はよく理解できた。設置する方向で検討するよう指示をしていく。

問 その他の質問 ①

子供たち専用のスポーツ施設づくりの推進 ② 団塊の世代に対する積極的な就労支援 ③ 月一回の土曜開庁の成果について



ひらの公園

小・中学校の

教室冷房化計画について

Q

国道二五四号線の右折帯について

21町政クラブ 鈴木周一

問 「小・中学校の教室に空調設備を」と平成十三年より何度か提案してきた経緯があるが、その後の状況についてお伺いしたい。

答 **教総務課長** 議員さんの提案もあり、教室には扇風機を、パソコン室・図書室・音楽室には空調設備を導入してきている。

問 私が配慮してほしいのは子供たちが学ぶ教室である。前回の質問時に、空調設備の予算要求があれば検討する旨の前町長の回答を得ているが、要求したのか。

答 **教育委員長** 学校の耐震補強工事のこともあり、要求していない。

答 **町長** 私の気持ちも議員さんと同じである。耐震補強工事の予算を含め、一緒にできるのか、できないのか検討していきたい。

問 三芳町の現在の職員数と今年度の退職者数及び新規採



ふれあいセンター

用についてお伺いしたい。

答 **総務課長** 現在の在職者は三三一名で、平成二十二年までに三一九名にする計画である。

問 十二名程度の削減計画のようだが、今年度の退職と採用は、退職者九名に対して採用者十一名というのは理解できない。三芳町の約半分の人

岡町の職員数は約一〇〇名である。業務の効率化による削減等「最小の人数で最大のサービス」はどうか。

答 **町長** ご指摘どおりであり、今後は将来の人員計画を考えた採用に努力する。

問 ふれあいセンターの計画概要についてお伺いしたい。

答 **町長** 人口の多い地区に建設してほしい等、様々な要望があるのでよく検討する。

その他の質問 ①歩道整備 ②運動公園東側のトイレについて

Q

職員定数の削減

21町政クラブ 久保俊和

問 平成十八年度の職員退職者数と十九年度の職員採用者数は。

答 **総務課長** 退職者九名、採用者十一名である。

問 時代に逆行している。団塊の世代のこの時期に、削減しないですつやるのか。五十名ほど削減すると、年間五億円近く経費削減になる。浮いたお金を福祉予算に回しては。

答 **町長** 係長以上が一〇〇名近くいて頭でつかちになっている。人口増の時に大幅採用した職員が退職する折に、期待に沿える職員数としたい。

◆体育施設の
利用料金見直し

問 体育館が建設されたが、体育館の利用料金は近隣市の中で一番安い。一方でアウトドアの運動場の利用料金が所沢市の三倍強と極端に高い。富士見市・ふじみ野市と比較しても高い。

見直しを早急に審議してもらいたい。また、多目的グラウンドの整備はいつになるか。

答 **スポーツ振興課長** スポーツ振興審議会で審議して、適正料金を設定する。また、多目的グラウンドについても協議する。

◆公共施設の自販機は
統一料金に

統一料金に

問 体育館は一〇〇円、庁舎内は一〇〇円、グラウンドは一二〇円となっているが、公共施設内は料金を一〇〇円に統一しては。

答 **町長** 自販機のみならず、体育施設も含め公平原則の中で見直しをしたい。

◆議会中は全課長の
議場入場を

問 議場の中は三芳町の話題が中心。全課長が入場しては。

答 **町長** 椅子の許す限りその方向で検討する。



体育施設

子育て全面支援で

少子化にストップ

Q 通学路の点滅信号、一刻も早く安全なものに

日本共産党 杉本しげ

問 少子化の原因は、①子育てに経費がかかり過ぎる、②仕事と育児を両立できる社会的仕組みが不十分、③結婚もできない低賃金、④保育所不足、などが指摘される。全面的な子育て支援を。妊婦定期健診について厚労省が二回から五回以上に無料化拡大する。町では十回分の補助をできないか。

答 町長 財政的に厳しいが、他の自治体に遅れないよう対処する。

問 こども医療費中学三年生まで無料と、保育所待機児の解消は。

答 子ども家庭課長 受診率の問題もあり医療費は下がると思うが、本年度は六年生まで拡大、三千万円を予算化した。待機児童については、平成二十年に旧証券グラウンド跡地内に民間保育所が開設予定。待機児と潜在的希望者も入所できると思う。



点滅信号機のある交差点

◆少人数学級の実施

問 本年度学級編成を見ると、最小は二十二名、最多は四十五人学級だ。三十六人以上の学級を解消するには七クラス増員配置で約二、八〇〇万円できるか。

答 町長 三十六人以上の学級を解消することは検討課題だ。

◆学校給食アレルギー対策

問 症状のある児童生徒が一

一〇人と聞いている。必要とする子どもに除去食の実施は。

答 給食センター所長 人手や設備上の問題で不可能だ。

◆危険な点滅信号の改善を

問 北永井二区集会所直近の交差点に設置された点滅信号付近で交通事故が多発。一刻も早い改善をしてはどうか。

答 自治環境課長 「黄色は徐行」の看板を設置、道路診断の中で警察に要望していく。

Q 「みんなで育てよう三芳の子どもたち」現状と具体策は

キャップ（CAP）について

ネットワーク三芳 神田順子

問 『幼稚園預かり保育』には、幼稚園終園後と長期休暇を利用した一、二歳児保育。年度途中で満三歳になった時から入れるという二つあるが、

昨年九月の質問時に「検討課題としていきたい」と答弁があったが、進捗状況は。

答 子ども家庭課長 幼稚園の考えもあり、検討していない。

問 では、企業内保育室は。

答 子ども家庭課長 地域開放型の企業内保育室を考えている所もあるので見守りたい。

問 駅周辺の空きビルを利用した待機児童解消策は。

答 子ども家庭課長 二月の七十七人が四月には二十六人になる。管外なので考えていない。

問 将来は全員が入れる保育所構想で、余裕を一時保育や

相談業務等と思うがどうか。

答 町長 趣旨は理解できる。民間活力と幼稚園との連携は検討すべきだと思う。待機児童対策は、新保育所開設の間に前向きな検討をしたい。

問 いじめに遭つても人に言えない、いじめに遭うのは自分が悪いと思う子がいる中、CAP（子どもが暴力から自分を守るための教育）は、ロールプレイ（役割劇）をすることで、自分だけがえのない存在だと学ぶ。体験の中から知ることが役立つと思うがどうか。

答 学校教育課長 参加により勇気を持つて意思表示ができる。いじめの早期発見ができるなど感じている。先生方に紹介したい。

◆緑の保全について

雑木林

問 落ち葉掃きから、一歩進んだ萌芽更新や荒れたヤマの再生など、維持管理を町では。

答 まちづくり推進課長 地権者の意向を確認しながら、緑の保全について検討したい。

